

大阪府内の外出自粛高齢者・ 障がい者等見守り支援事業の 取り組みについて ～工夫と知恵でつながりを～



外出自粛高齢者・障がい者等 見守り支援事業交付金①

外出自粛要請やイベントの開催自粛要請等により、地域住民のふれあいや、つながりの機会が一時的に失われること等によって、高齢者や障がい者等の要支援者が孤立や不安を抱えないよう、社会福祉協議会が有する地域のネットワーク等を活用し、見守りや安否確認等を実施。

□実施主体・・・市区町村社会福祉協議会等

□実施期間・・・大阪府緊急事態措置が全面解除されるまでの期間

※大阪府と協議のうえ、令和3年3月31日まで
事業を実施することが可能

□実施内容・・・高齢者単身世帯、障がい者世帯など、
支援を必要とする世帯への見守り支援

外出自粛高齢者・障がい者等 見守り支援事業交付金②

□申請社協・・・39社協（政令指定都市除く）

□連携団体・・・福祉委員会、民生委員児童委員、
ボランティア、老人クラブ、
宅配サービス事業者等

□取り組み内容（大きく分類）・・・

（当初）令和2年4月17日～5月31日

- ①電話や手紙等を活用した安否確認
- ②手作りグッズの配布（マスク等）
- ③情報発信（チラシのポスティング等）
- ④パンフレットの作成等
- ⑤配食サービスによる見守り
- ⑥ひきこもりや子どもの支援
- ⑦その他



新たな
カテゴリー

（延長後）令和2年6月1日～

- ①電話や手紙等を活用した安否確認
- ②手作りグッズの配布（マスク等）
- ③情報発信（チラシのポスティング等）
- ④パンフレットの作成等
- ⑤配食サービスによる見守り
- ⑥ひきこもりや子どもの支援
- ⑦学生支援
- ⑧ガイドラインの作成
- ⑨ICTツールの活用
- ⑩アンケート調査
- ⑪その他

外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業交付金事業(当初)

令和2年4月17日～5月31日

①電話や手紙等を活用した安否確認

41%

②手作りグッズの配布(マスク等)

12%

⑦その他

9%

⑥ひきこもりや子どもの支援

4%

⑤配食サービスによる見守り

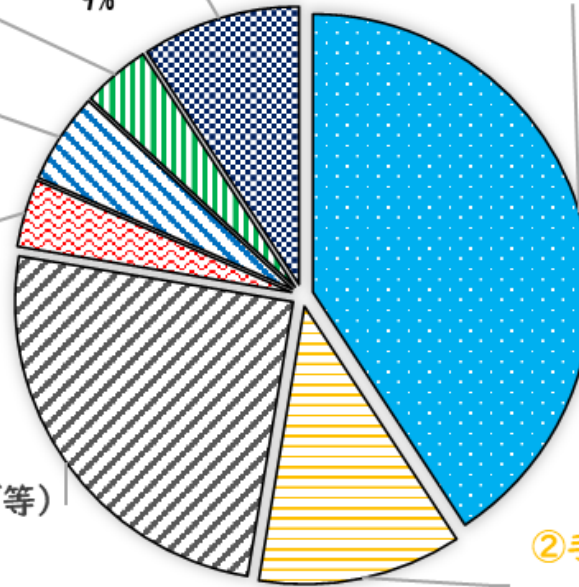
5%

④パンフレットの作成等

4%

③情報発信(チラシのポスティング等)

25%

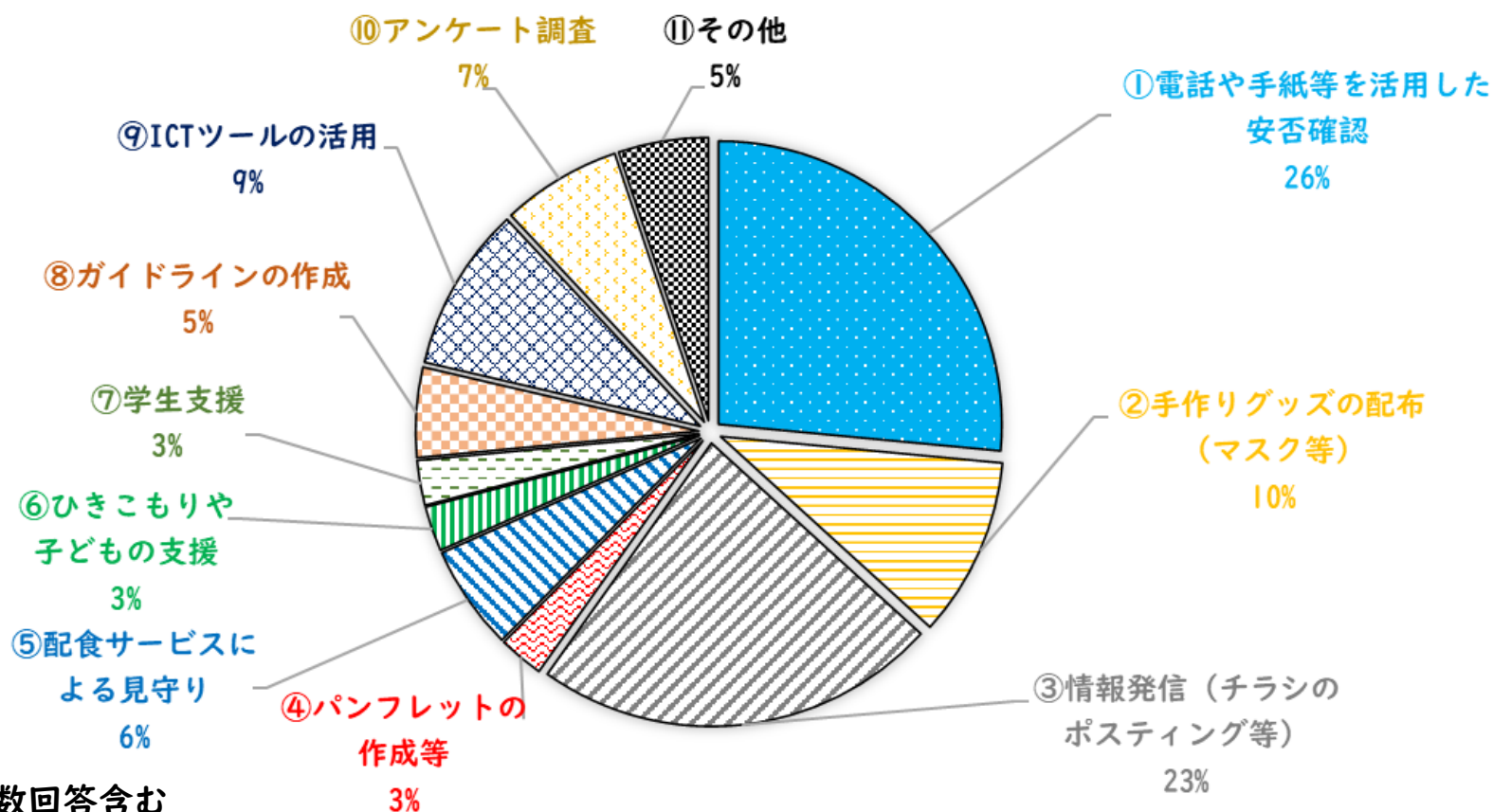


※複数回答含む

- ・「電話や手紙等を活用した安否確認」や「情報発信(チラシのポスティング等)」が多い。
- ・「その他」は、ICTを活用した見守り活動、かどま折り鶴12万羽プロジェクト、郵便局と連携した見守り、自粛生活の実態調査、健康維持のため防災無線で体操の放送等。

外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業交付金事業(延長後)

令和2年6月1日～



・新たな生活様式に向け「ICTツールの活用」や「アンケート調査(高齢者に対する生活実態調査や活動者向けの調査等)」を実施する市町村が増えている。また、「学生支援」や地域活動の再開に向けた「ガイドラインの作成」の取り組みが出てきている。

取り組み紹介①

□豊中市・・・

■YouTube チャンネルの開設

#離れていても、つながろう

①おうちで介護予防チャンネル

②地域ニュース

③地域福祉学びチャンネル

④豊中びと～コロナに負けない絆メッセージ～



■大学生食材応援プロジェクト

バイトなど収入が減った大学生・大学院生にフードドライブで食材支援。市民や休校のため学校給食センターで給食に使わなかったお米などをお届け。



■マスクポストプロジェクト

市内の郵便局との連携。未使用のマスクを郵便局の窓口を設置されている「マスクポスト」に投函。市社協から市内の地域団体、施設、学校、生活困窮等マスクの必要な人にお届け。



取り組み紹介②

□池田市・・・

■お変わらないですか活動

・福祉委員会による安否確認活動

・社協による「お変わらないですか活動通信」の発行

→手紙や電話でつながりを実感。ふれあいサロンや料理教室、見守り活動などを実施している地区福祉委員会が手紙の送付、電話や訪問。「元気が出た!」との返信が多く届いている。

・「新しい生活様式」を意識したつながりづくり(予定)

→地域の会合・サロン・居場所の提案と環境整備(ICTの活用等)やYouTubeを利用した動画配信等。



「お変わらないですか?」活動
たくさんの声が届いています



■活動に取り組んだ福祉委員の声

- ・私の体を労う言葉もいただき反対に元気になりました
- ・電話をかけただけで、すごく喜んでいただきました
- ・はがきを投函したところ「実は家族の認知症が進行し悩んでいる」と電話を頂きました。地域でサポートできることはするし、何かあれば抱え込まずに社協に相談したいよと伝えました
- ・近所の方も参加し、多くの方に声かけできました
- ・こんなときこそ地域のつながりが大切だと思います

■「こんな工夫をしてみました」

- ・お子さんがお家で遊べるようにと、シールを封筒に入れて送りました
- ・インターホン越しで会話をしました
- ・相手の方と出会ったときのちょっとしたエピソードを書いたお手紙を同封して送りました
- ・民生委員へ協力をお願いしました
- ・手作りマスクを一緒に渡しました
- ・サロンの写真を同封して送り、懐かしんでもらえました。



■お手紙をもらった方からのお返事

- ・食生活を見直し体調を整えています
- ・早くサロンや行事が再開できることを願っています
- ・障がいの子どもの預けることができず不安です
- ・姉妹で毎日家の中で工夫しながら遊んでいます
- ・子ども3人が家にいるのでご近所、階下の方にご迷惑だろうと気になっています
- ・早朝にストレス発散のためウオーキングしています

■今後「やってみたい!」

- ・これを機にこまめに情報を持参して、声かけしたい
- ・緊急事態宣言後に何ができるかを考えたい
- ・公園等でラジオ体操をしたい
- ・PCやスマートフォンを使った活動をしてみたい
- ・小さな鉢植えのお花などお届けしたら癒しや楽しみになるのでは
- ・年賀状や配食サービスを考えたい
- ・マスクやごみ袋をポスティングするのはいかが



取り組み紹介③

□吹田市・・・

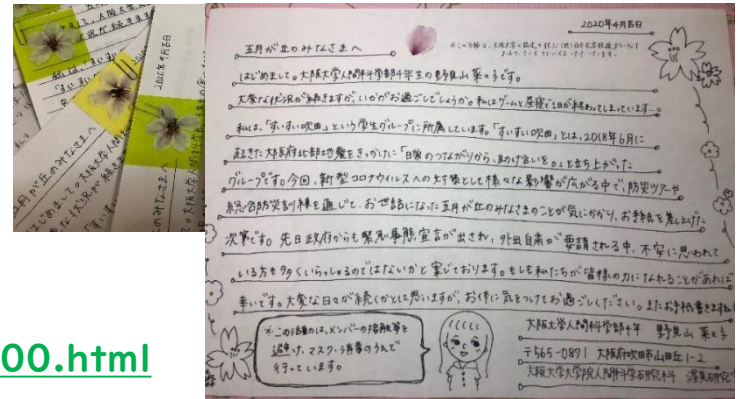
■すいすい吹田プロジェクト

大阪大学の学生有志と地区福祉委員会が始めた取り組み。学生が書いた手紙を一人暮らしのお年寄りに届け、手紙のやりとりを通じて心のケアをする活動。

4/25ウィークエンド関西 (NHK総合) において放送

<https://www.nhk.or.jp/osaka-blog/weekend/428200.html>

※こちらのURLから視聴可能。



■つながり通信 胡蝶蘭

コロナ禍における地区福祉委員会や市社協の取り組みを紹介。

■施設連絡会と連携した取り組み

※社会貢献・地域貢献を目的として市内の福祉施設で組織する団体

・病を打ち払え!つながりうちわ

見守り・声かけ訪問の際のアイテムとして、「つながりうちわ」を作成。



・障がい事業所授産品を使って、つながりづくり!

障がい者事業所と連携し、事業所が販売する授産品を地区福祉委員活動に活用いただけるような仕組みを構築。



授産品にはつながりシールが貼られています。



・デジタルでつながるオンライン保育園 「きららとあそぼ」スタート!

私立保育園においてオンラインで子育て世代向けの手遊びや歌遊びなどの情報発信。

きららとあそぼ!

マップで私立保育園を選択!

親子遊びをYouTubeで見よう!



吹田市社協HP
(トップページ)
にアップされています。

取り組み紹介④

□茨木市・・・

■感染予防に備えた福祉委員会活動 6つの注意事項

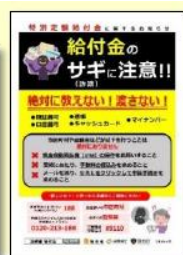
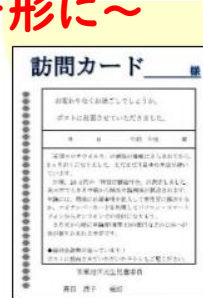
- ①手洗いうがいの徹底
- ②活動前の検温チェック
- ③マスクの着用
- ④こまめな換気
- ⑤アルコールでの消毒
- ⑥十分な距離を取る



■『ちいき いきいき いばらき』

～悩みながらできることから みんなの想いを形に～

- ・会えなくても繋がりあえる「訪問カード」
→給付金詐欺注意喚起チラシとともに民生委員が
日頃活用している「訪問カード」を配布。

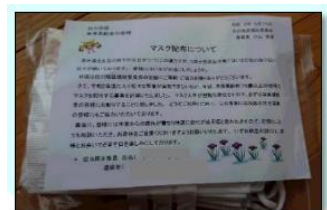


各地区の
取組み(一部)

- ・かわいい手作りマスクでほっこり
→福祉委員が作ったマスクを地域包括支援センターを
通じて配布(子ども用は学童保育、大人用は地域の必要な方へ)。



- ・マスクと一緒に気持ちも添えて
→地区の広報誌と一緒にマスクとコロナに関する
相談窓口一覧を自治会を通して各家庭に配布。

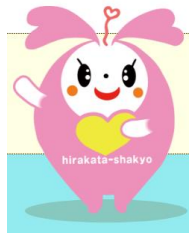


取り組み紹介⑤

□枚方市・・・

■ひとり暮らし大学生等を対象とした食料支援事業

アルバイト収入もしくは保護者からの仕送りが減少したことで、生活が苦しくなった市内在住・在学の大学生等を対象に食料支援（お米2キロ、缶詰、インスタントラーメン、味噌汁等）。詳しくは、URLを参照。<http://www.hirakata-shakyo.net/topics/info/851.html>



■あんしんコール

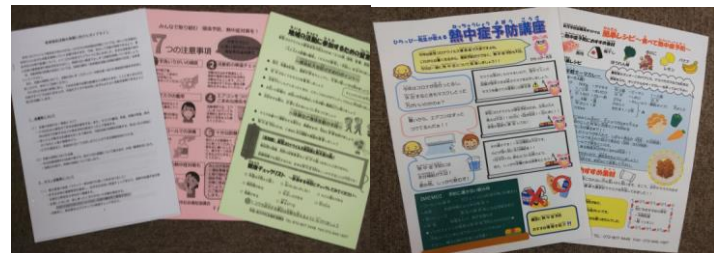
高齢者・障がい者、その他支援の必要な人に対し、校区福祉委員会の福祉委員やボランティア、協力員による電話での安否確認や声かけを行い、人との会話・交流の減少による不安の解消やニーズキャッチ、情報提供等を行う。

■ふれあいポスティング

見守りや安否確認ができない要援護者を中心に校区福祉委員会の福祉委員やボランティア、協力員によるチラシのポスティング（情報提供）を行う。

■ガイドライン等の作成

地域での活動を再開するにあたり、活動者の不安や疑問を解消し、スムーズな活動再開ができるよう、地域住民と協議しながら作成。



取り組み紹介⑥

□門真市・・・

■かどま折り鶴12万羽プロジェクト

市民の「おうち時間」を有効的かつ目的をもって過ごしてもらうため、多くの市民に呼びかけて市の人口と同じ12万羽の折り鶴に挑戦。今後、できた折り鶴を活用したアート作品を展示する予定。

■子どもの食事の確保事業

学校の休校や親の休業に伴い、必要な食事の確保が困難な子どもたちを対象に、NPO法人や母子寡婦福祉会と連携し、食事（お弁当）等を届けて、健康な食育環境を維持する。

■ゆめ伴プロジェクトin門真（事務局：市社協）



・おうちde笑おう!プロジェクト～会えなくても心でつながり、笑い合いたい～

①おうちde笑おう!プロジェクト～笑いヨガ～

→笑いヨガとは「笑う体操」と「ヨガの呼吸法」を合わせたもの。

②おうちde笑おう!プロジェクト～お楽しみ3点セット配布～

→おうちde川柳（一筆箋 3枚）、おうちde折り鶴（折り紙 5枚）、おうちde綿花（綿花の種 5粒）。

・高齢者のいきがいづくり事業「夢かなえマスク」

手作りマスクを作成し、市内の団体への寄付を行う。

ゆめ伴プロジェクトin門真の具体的な取り組みは下記URLからご覧いただけます。

<https://www.yumetomokadoma.com/>



取り組み紹介⑦

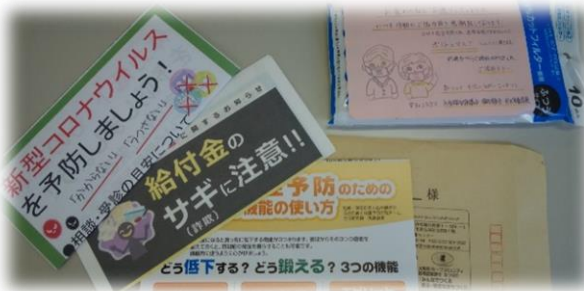
□松原市・・・

■新型コロナ関連情報等の提供（ポスティング）

第1弾・・・新型コロナ、相談窓口、フレイル予防

第2弾・・・悪質商法の予防、布製マスクの洗い方・作り方

第3弾・・・受診要件の変更、給付金詐欺、認知症予防等



もしも気になったら、ご連絡ください。

1回目
ポスティングや
電話をした時は、
問題なし



2回目・3回目
ポスティングや電話を
したけど・・・

・前回の資料が残っている。
・前回と明らかに様子が
違っている。



異変を感じたら！！

もし、前回と明らか
に違うと感じたら、社協まで、ご
連絡をください。
社会福祉協議会
TEL：072-333-
0294
TEL：090-1767-
0294

■電話等による声かけ

■宅配サービス事業者等との連携による安否確認

※ポスティングや電話をした時は問題なかったが、ポストに前回の
資料が残っている、様子がおかしいなどがあれば市社協に連絡。

■ICTの活用

新しい生活様式を踏まえて、人とのつながりやフレイル予防を目的とした
YouTubeを作成。自宅内でもオンラインでサロンに参加できる環境を整えたり、
新たな安否確認の方法としてYouTubeの内容を落とし込んだDVDの配布や
高齢者に有益な情報のポスティングなどを行う予定。

取り組み紹介⑧

□藤井寺市・・・

■手づくりマスクの配布（民間の学童と連携）

市内の民間学童、子ども食堂等の子どもに関連する個人・団体が参加し、組織化された『子ども子育て連絡会』が作ったマスク（子ども食堂が閉まっているため、民間学童が協力）。新型コロナの貸付相談者に配付。子どもが書いたメッセージ付で市民の緩やかな結びつきにつながっている。



■感染予防のガイドラインの作成・周知の検討

■新たな生活様式に向けた安否確認（見守りや声かけなど）の取り組みを見える化

取り組み紹介⑨

□太子町・・・

■防災行政無線を活用したおうち体操

「たいしくん元気体操」のチラシを全戸配布し、防災行政無線で体操を放送。

みんなでやってみよう 
たいしくん元気体操＜ポイント＞

☆ 基本の姿勢 ☆

足は肩幅に開き、手は右手から、足は左足から踏み出しましょう



太子町歌
松井定造 作詞
船井康文 作曲
堀田正 編曲
一、緑の山脈さわやかに
今を明けめど長閑な
町は静かなる丘
あゝ 國の町 太子町
二、梅津御殿や御福寺
近き島の名にとも
歴史に残る道
往来をしのび
あゝ 古里の町 太子町
三、太子のみ教え祖の心
今に伝ふ千余年
明るいづれ手を
とりつぎまを
あゝ 平和の町 太子町



10時は ラジオ体操
15時は たいしくん元気体操
「おうち体操」で生活不活
発病を防ぎましょう。



生活不活発病（廃用症候群）とは…
「動かない」（生活が不活発な状態）が続くことにより、
心身の機能が低下することになります。

新型コロナウイルス感染症のため外出自粛が要請さ
れていますが、自宅で適度に身体を動かし、生活の
リズムを意図して健康に過ごしましょう。

たいしくん元気でTVに出るプロジェクト
太子町・太子町社会福祉協議会

全戸訪問するためにポス
ティング大作戦を実施



■お弁当の配食

NPO法人による子ども食堂参加者とその世帯に対する見守り・安否確認を兼ねた配食（毎週木曜日に実施）。対象者宅にお届け。

■衛生用品安心パック配布事業

衛生用品安心パック（手指消毒液、除菌シート、ハンドソープ、使い捨てダスター、備品用消毒液、ポリグローブ、非接触型体温計、使用マニュアル）を配布。

■元気ぐんぐんトレーニング

世話人によるトレーニング参加者への安否確認。低栄養予防レシピ、『貯筋通帳』の配布、おすすめ筋トレメニュー等を配布。

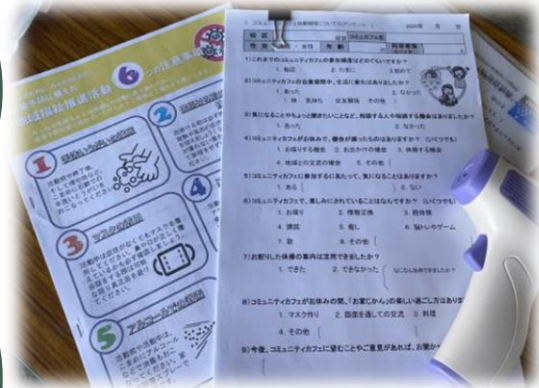
取り組み紹介⑩

□高石市・・・

■オープンカフェ（野外カフェ）

新しい生活様式として高架下などを活用したコミュニティカフェ（野外カフェ）で居場所づくりを再開。

→受付で消毒・検温・追跡名簿記載。地域包括支援センター所属の看護師より感染予防の講話で手洗い・マスクの着用の必要性について説明。生活支援コーディネーターから、フレイル予防クイズや体操を実施。



■おうち時間をたのしもう企画

お菓子づくりやマスクの作り方等を掲載。

マスクの作り方はコチラからご覧いただけます。

<http://takaishi-shakyo.com/wp/wp-content/uploads/2020/05/mask.pdf>

おうち時間楽しもう 第3弾 ～マスクの作り方～

自宅にある生地で、オリジナルのマスクを作ってみませんか！



立体マスクの作り方



各パーツのカットサイズ

用尺：（表布）タテ14cm×ヨコ14cm

（裏布）タテ14cm×ヨコ12cm

表布：型紙に合わせてカットした布2枚

裏布：型紙に合わせてカットした布2枚

※マスク用ゴム：25cm程度を2本



取り組み紹介①①

□泉佐野市・・・

■新型コロナウイルスに負けない地域のつながり支えあい活動支援関連事業

- ・地域のつながり安否確認・声かけ強化事業
- ・子育てサロン参加者への子ども用マスクの配布
- ・おたがいさまの会会員つながり事業

→通信の発行や会員間でのメッセージのやりとり
(自粛期間中の過ごし方や会員に向けて発信したいことなど)

・新しい生活様式をふまえた地域活動ガイドラインの作成

→今後再開されるサロン活動等について、感染拡大防止のための対策について各地域へ周知し、市内全体で孤立を防ぐ。

・活動再開に対する支援物資の提供(予定)

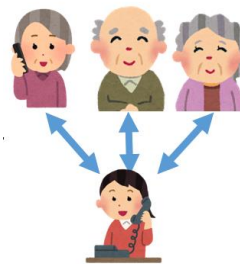
→各地域で活動を再開するにあたり必要な感染拡大防止策に必要な物資を提供(マスク・消毒液・ペーパータオル等)。

・第2波、第3波を想定し、新たなサロン活動を可能にする手法の導入(検討)

→タブレット等を使用したサロンを開催し、直接的な接触を避けながらもつながりを感じられる方法を検討。

・外国人のための情報交換のつどい

→困りごとや暮らしの知恵などを互いに情報交換をできる機会として、以前から国際交流活動にとりくんできたica(泉佐野地球交流協会)・泉佐野市役所の協力を得て実現。月1回程度の頻度で市内在住の外国人を対象。出入り自由。

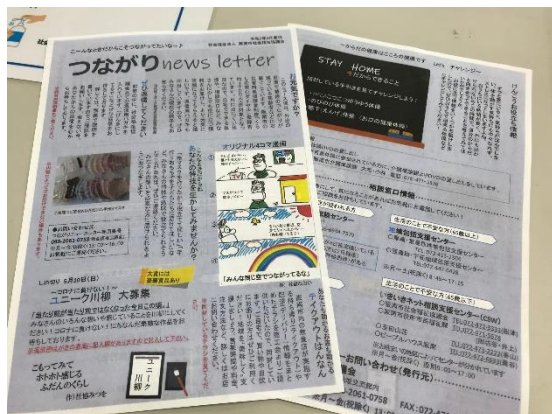


取り組み紹介⑫

□阪南市・・・新しい「ツナガリ」プロジェクト

■「つながりニュース便」の発行

■返信ハガキでの安否確認



「つながりニュース便」お返事欄
ぜひみなさんの様子を教えてください！

☆体調はいかがですか？
良い・普通・以前より悪くなった

☆週に1回以上、外出していますか？
はい・いいえ

☆週に1回以上、家族や友人と会話をしますか？
はい・いいえ

☆このところ気持ち落ち込むことがありますか？
ある・ない

☆何か相談したいことや回りごとがありますか？
ある・特になし

内容：
ニュース便の感想をお書きください！

●お名前を教えてください
名前 地区

—ありがとうございます。記入後、お近くの
ポストに投函してください—

阪南市災害時要援護者登録「くらしの安心ダイヤル事業」登録者約1,400人(ひとり暮らし高齢者など)を対象に送付。自宅でできる体操の手引きやテイクアウトのお店リストなど役立つ情報を発信。



封入作業は
障がい者授産
施設に依頼。

外出自粛の影響で、気持ちが落ち込んでいないか等の状況を把握。コロナ撃退ユニーク川柳も募集。

返事の内容(一部抜粋)

体力が落ちないか不安、暗いニュースばかりで気持ちが沈むといった体調に関する不安や夜になると不安で眠れないといった一人暮らしに対する不安が声があがりました。また、毎日誰とも話さない寂しい日が続いているので、お便りを頂いて大変嬉しかったなど、つながりの実感したといった声がありました。

■電話での声かけ安否確認

各地区の福祉委員や民生委員、ボランティアが携帯等で声かけ安否確認。何かあれば、社協やCSW・地域包括支援センターへ連絡。

■文通マッチング大作戦

地域の福祉委員やボランティア、子ども福祉委員や泉南学寮(少年院)グリーンサポーターと連携。

取り組み紹介⑬

□泉大津市・・・

■外出を自粛している70歳以上のひとり暮らし高齢者に電話及び訪問による安否確認

■まごチャンネルを活用した情報発信(実証実験)

→「まごチャンネル」は、スマートフォンで撮影した動画や写真をネット環境の有無を問わず実家のテレビに直接送信できる動画・写真共有サービスで、IT が苦手なシニア世代でも簡単に扱えるのが特長。「災害時の避難」、「介護予防」、「地域とのつながり」の3つを検証テーマとして選定。

- ・ 実証期間:2020年7月15 日～10月14日予定)
- ・ 対象者: 泉大津市在住の 70 歳以上の高齢者 10 名
- ・ 配信 コンテンツ:

- 1.コロナ避難のHOW TO動画(市) 6 回程度
- 2.お口の健康体操のHOW TO動画(市) 12回程度
- 3.民生委員の紹介と訪問の予告動画(社協&市) 6 回程度

【株式会社チカク(まごチャンネル)について】

株式会社チカクは、「距離も時間も超えて、大切な人を近くする・知覚できる世界を創る」をミッションとする IoT スタートアップ企業です。第一弾プロダクトとして、スマートフォンで撮影した動画や写真を実家のテレビに直接送信できる動画・写真共有サービス「まごチャンネル」を開発・販売。

<https://www.chikaku.co.jp/>



配信コンテンツ例(高齢介護課)



□ 摂津市・・・

■ 高齢者（75歳以上一人暮らし）向け注意喚起及び生活実態アンケート調査

→安否確認と困りごと等の相談を行うためのお知らせ(アンケート)を郵送し、安否確認やフレイル予防等を行う。

(取り組みから・・・)

アンケートや電話訪問等を通して、対象者からは前向きな意見が多く、同封した家庭内でできる体操の資料の活用やチェックシートに励まされて会話や散歩を意識して行う方など、一定の効果あり。

お話・体操・散歩
に“○”をつけ、
モチベーション
アップに!!

■サロン再開に向けた安否確認等事業

→事業内容=休止中のサロン、リハサロン活動参加者への安否確認等を校区等福祉委員等が訪問（マスクやフェイスシールド等着用）にて行い、再開に向けた準備と生活状況の把握を行う。

毎日の自分の行動を チェックしてみましょう						
7月		・連絡合わせなくても電話でお話ししましょう。 ・じっとして怠いで身体を動かしましょう。 ・お天気の良い日は散歩に出かけましょう。 ・暑さを避けてこまめに水分補給しましょう。				
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			お昼 体操 散歩	お昼 体操 散歩	お昼 体操 散歩	お昼 体操 散歩
5	6	7	8	9	10	11

																																																																																
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

[illegible]

eコミュニティ・プラットフォームのマップで見える化 「コロナ禍の地域福祉活動×ICT化」 ～コロナ禍の取り組みを大阪府内の市町村社協間で情報共有～

eコミュニティ・プラットフォーム(国立研究開発法人 防災科学技術研究所開発のICTツール)を活用し、活動情報をマッピングし、市町村社協の担当職員間で情報共有を図りました(地域福祉活動×ICT化)。このマップでは、「電話や手紙等を活用した安否確認」、「手作りグッズの配布(マスク等)」などに取り組む活動(実施状況)をカテゴリー毎で確認することができます。

また、平時より上記取り組み等のアドバイザーでご協力いただいておりますFEEL Doでは、新型コロナウイルスにおいて、全国の工夫した取り組みをシェアし、お互いの活動のヒントにできるようにしたいと特設サイトを立ちあげています。是非、ご覧ください。

「今できる地土或の取組み」を
みんなでシェアしよう!

「つながり・支え合い続ける
みんなのフィールド」
特設サイト
QRコード



FEEL Do(フィールド) からのご案内
特設ホームページを開設しました!

「今できる地土或の取組み」を
みんなでシェアしよう!

① サイトをご覧ください!
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各地域の活動状況を確認し、必要に応じて活動の中止や変更を行う場合があります。最新の活動状況を確認し、必要に応じて活動の中止や変更を行う場合があります。

② ぜひ情報をお寄せください!
各地域で実施されている活動や、各地域で実施されている活動の状況を確認し、必要に応じて活動の中止や変更を行う場合があります。最新の活動状況を確認し、必要に応じて活動の中止や変更を行う場合があります。

コミュニティ・エンバメント・オフィス FEEL Do
代表 奈良孝文
〒595-0014 大阪府八尾市東山町4-15-15
TEL 072-971-9716
FAX 072-971-9717
E-MAIL feel@feel-do.jp
URL https://www.feel-do.jp/

eコミマップ(外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業の取り組み一覧)の見方

① ログイン
「参加中のページ」から「27. 大阪府内の社協ポータルサイト(実施中)」を選択。

② 27. 大阪府内の社協ポータルサイト(実施中)
「eコミマップ」をクリック。
「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業の取り組み一覧」の「マップを開く」をクリック。

③ 拡大
「社会福祉協議会」では事業概要を閲覧することが可能。また、取り組みのキーワード(カテゴリー)に☑すれば、該当社協のみ表示できます。※掲載している情報は、申請当初の内容をベースに作成していますので予めご了承ください。

④ 「情報一覧」から該当市町村を選択することも可能。

⑤ 取り組みのキーワード(カテゴリー)や事業概要を閲覧することが可能(一部写真あり)。

⑥ 取り組みのキーワード(カテゴリー)で☑した場合、下記のような表示になります。
例)「電話や手紙等を活用した安否確認」に☑

※eコミュニティ・プラットフォームは、一般公開しておらず、大阪府内の市町村社協間での情報共有ツールとして運用しています。